

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	東京YMCA医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 東京YMCA学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
社会福祉専門課程	介護福祉科	(非該当)	1,836	160	(ではない)
		夜・通信			
医療専門課程	作業療法学科	(非該当)	2,823	240	(ではない)
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ公式サイトトップページの最下部に情報公開のバナーがあり、それをクリックしたページのURL  
<https://tokyo.ymca.ac.jp/ifs/about/disclosure.html>  
 このページの中段に「教育情報の公開」のタイトルがあり、その下にシラバスが公開されている。

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東京YMCA医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 東京YMCA学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページオフィシャルサイトトップページの最下部に情報公開のバナーがあり、それをクリックしたページのURL  
<https://tokyo.ymca.ac.jp/ifs/about/disclosure.html>  
 このページの上段に「基本情報の公開」のタイトルがありその下の「役員名簿」に公開されている。

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	(現職) 情報・通信会社会長	2023/6/17 ～ 2026/6/16	情報・通信会社会長として組織経営の深い知見が期待される。学生時代、YMCA 寄宿舎生活を送り、青年期の教育には、YMCA の職能教育に優れた可能性を見出す。
非常勤	(前職) 大学教授	2023/6/17 ～ 2026/6/16	大学教授としての長年の教育研究活動の成果及び青少年教育の経験を生かし、理事会において高等教育のあるべき姿や青少年理解等での見識を示し学校運営に資する役割。
(備考)			

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東京YMCA医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 東京YMCA学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページオフィシャルサイトトップページの最下部に情報公開のバナーがあり、それをクリックしたページのURL  
<https://tokyo.ymca.ac.jp/ifs/about/disclosure.html>  
 このページの上段に「基本情報の公開」のタイトルがありその下の「役員名簿」に公開されている。

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	(現職) 情報・通信会社会長	2023/6/17 ～ 2026/6/16	情報・通信会社会長として組織経営の深い知見が期待される。学生時代、YMCA 寄宿舎生活を送り、青年期の教育には、YMCA の職能教育に優れた可能性を見出す。
非常勤	(前職) 大学教授	2023/6/17 ～ 2026/6/16	大学教授としての長年の教育研究活動の成果及び青少年教育の経験を生かし、理事会において高等教育のあるべき姿や青少年理解等での見識を示し学校運営に資する役割。
(備考)			

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	東京YMCA医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 東京YMCA学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページオフィシャルサイトトップページの最下部に情報公開のバナーがあり、それをクリックしたページのURL <a href="https://tokyo.ymca.ac.jp/ifs/about/disclosure.html">https://tokyo.ymca.ac.jp/ifs/about/disclosure.html</a> の中の「基本情報の公開」タイトルに「貸借対照表」参照 <a href="https://tokyo.ymca.ac.jp/ifs/pdf/bs_2022.pdf">https://tokyo.ymca.ac.jp/ifs/pdf/bs_2022.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://tokyo.ymca.ac.jp/ifs/pdf/shohi_shushi_2022.pdf">https://tokyo.ymca.ac.jp/ifs/pdf/shohi_shushi_2022.pdf</a>
財産目録	<a href="https://tokyo.ymca.ac.jp/ifs/pdf/inventory_2022.pdf">https://tokyo.ymca.ac.jp/ifs/pdf/inventory_2022.pdf</a>
事業報告書	<a href="https://tokyo.ymca.ac.jp/ifs/pdf/jigyo_hokokusho_2022.pdf">https://tokyo.ymca.ac.jp/ifs/pdf/jigyo_hokokusho_2022.pdf</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://tokyo.ymca.ac.jp/ifs/pdf/audit_2022.pdf">https://tokyo.ymca.ac.jp/ifs/pdf/audit_2022.pdf</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉関係		社会福祉専門課程	介護福祉科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,076 単位時間	945	555	576	0	0
			<small>単位時間</small>	<small>単位時間</small>	<small>単位時間</small>	<small>単位時間</small>	<small>単位時間</small>
2,076 単位時間/単位							
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		59人	24人	5人	12人	17人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照

学修支援等
(概要) 学校独自の「東京YMCA医療福祉奨学金」、「多摩地区修学就労奨学金」、「私費留学生奨学金」(以上全て給付型)をはじめ、経済困窮学生支援制度(国の事業を活用)や、高等教育の学修支援新制度の対象校として認定を受けるなどの経済的支援を行なっている。 また、授業理解が十分ではない学生を対象として放課後に補習をしている。更に学内のPCはインターネットを自由に利用でき、論文検索システム(CiNii)の契約もあるため、学修に活用できている。プリンタも無料で開放している。放課後は午後8時まで図書室や教室を開放して学生の自習に活用できるようになっている。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
35人 (100%)	0人 (%)	35人 (%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) 特別養護老人ホーム、老人保健施設、障害児者療育施設などに就職している。			
(就職指導内容) 就職支援演習での様々な演習を通じて施設種の理解、仕事内容や待遇の理解に立って、更に自己理解を重ねた上で適切に自らの事を表現でき、就職先の状況を知ることが出来る力を養っている。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 介護福祉士国家試験：合格者34人/受験者35人(97.1%)			
(備考)(任意記載事項) 介護福祉士国家試験は35人の卒業生全員が受験し、34名が合格した。留学生1名が不合格となった。国試不合格だった者も、特例措置により介護福祉施設へ勤務している。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
67人	4人	6%
(中途退学の主な理由) 学力不振、進路変更による。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制により個別の事情を早期に発見する。また学生相談室(非常勤カウンセラー配置)の活用により適切な選択が出来る支援をする。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
医療関係	医療専門課程	作業療法学科	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数 又は 総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,163 単位時間	1,293	265	1,035	0	570
			単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
			3,163 単位時間				
学生総定員	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
90	60	3	6	22	28		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 学校独自の「東京YMCA医療福祉奨学金」、「私費留学生奨学金」（以上全て給付型）をはじめ、経済困窮学生支援制度（国の事業を活用）や、高等教育の修学支援新制度の対象校として認定を受けるなどの経済的支援を行なっている。 また、授業理解が十分ではない学生を対象として放課後に補習をしている。更に学内のPCはインターネットを自由に利用でき、論文検索システム(CiNii)の契約もあるため、学修に活用できている。プリンタも無料で開放している。放課後は午後8時まで図書室や教室を開放していて学生の自習に活用できるようになっている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む)	その他
17人 (100.0%)	0人 (0.0%)	14人 (82.3%)	3人 (17.7%)
（主な就職、業界等） 病院、老人保健施設など			
（就職指導内容） ジョブカフェを通じて業界理解を深め、就職指導室長による就職オリエンテーションを皮切りに継続的に就職活動を支援している。また卒業生を積極的に各授業のゲスト講師に迎え、授業内外で実際の職業現場を理解出来るような工夫もしている。			

(主な学修成果(資格・検定等)) 国家試験は卒業生 17 人全員が受験、うち 14 人が合格。合格率は 82.3%であった。
(備考) (任意記載事項) 国家試験の結果では不合格となった 3 名について、次回の合格につながるような準備期間としての 1 年間でありたい。また、昨年不合格となった 3 名のうち 2 名は再受験し合格した。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
62 人	1 人	1.7%
(中途退学の主な理由) 学力不振、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制により個別の事情を早期に発見する。また学生相談室(非常勤カウンセラー配置)の活用により適切な選択が出来る支援をする。		

## ②学校単位の情報

### a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
介護福祉科 (2 年制)	200,000 円	700,000 円	350,000 円	
作業療法学科 (3 年制)	300,000 円	1,000,000 円	450,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援(任意記載事項)				

### b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページオフィシャルサイト内の情報公開のページで公表 トップページの最下部に情報公開のバナーがある。それをクリックしたページの URL <a href="https://tokyo.ymca.ac.jp/ifs/about/disclosure.html">https://tokyo.ymca.ac.jp/ifs/about/disclosure.html</a>  同ページに「第三者評価に関わる情報公開」のタイトルがあり、その中に「自己点検評価報告書(2022 年度)」が PDF でアップされている。 <ご参考> <a href="https://tokyo.ymca.ac.jp/ifs/pdf/jikohyouka2022_1st_revised.pdf">https://tokyo.ymca.ac.jp/ifs/pdf/jikohyouka2022_1st_revised.pdf</a>
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)
<評価項目> 教育目標(カリキュラムポリシー)に沿った取り組みの達成状況を評価し、主として学生に対する教育の質の向上を視点として持ちながら委員会を運営する。

<計画と結果の公表>

学校運営を継続的に改善してゆく事ができるように計画し、そのプロセスと結果を公表する。さらに、自己点検評価の客観性について評価し、その結果も公表することによって、地域・業界 などにより透明性を高めた情報提供をする。

<評価委員会の構成>

委員会は、次の各号に掲げる委員 3 名以上をもって組織する

- (1) 業界関係者
- (2) 卒業生
- (3) 有識者
- (4) その他必要と認められた者

<委員会の進め方と結果の活用>

そして委員会は、教育活動、学校運営に関すること及びその他の自己評価結果を学校関係者の立場から点検評価する。そのため年に 2 回の会議と 1 回の視察を行なうこととする。

初回の会議では前年度の取り組みの結果を報告し、更に最新の自己点検評価書をもとに質疑応答、提言などをまとめる。そして 2 回目の委員会ではそれに対する学校の取り組み計画を説明し、すぐに取りかかった事、これから取り掛かる事を整理する。委員会ではそれに則って意見提言をまとめて学校に示す。

委員会の提言を受けて校長を中心とした体制で継続的に P D C A の手法で学校改善活動に取り組む。

学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
社会福祉法人	2023/4/1-2024/3/31	業界関係者兼卒業生(介護福祉分野)
総合病院(事務長兼作業療法士)	2023/4/1-2024/3/31	業界関係者兼卒業生(作業療法分野)
高等学校進路団体	2023/4/1-2024/3/31	高等学校関係者
他専門学校元校長	2023/4/1-2024/3/31	学識経験者

学校関係者評価結果の公表方法

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

ホームページオフィシャルサイト内の情報公開のページで公表

トップページの最下部に情報公開のバナーがある。それをクリックしたページの URL

<https://tokyo.ymca.ac.jp/ifs/about/disclosure.html>

同ページに「職業実践専門課程の認定において求められている情報公開」のタイトルがあり、その中に「学校関係者委員会議事録(第1回及び第2回)」や「委員会名簿(こちらは実名入り)」が PDF でアップされている。

<ご参考>

議事録 URL

[https://tokyo.ymca.ac.jp/ifs/pdf/2020/gakkan\\_gijiroku\\_2022.pdf](https://tokyo.ymca.ac.jp/ifs/pdf/2020/gakkan_gijiroku_2022.pdf)

[https://tokyo.ymca.ac.jp/ifs/pdf/2020/gakkan\\_gijiroku\\_2022\\_2.pdf](https://tokyo.ymca.ac.jp/ifs/pdf/2020/gakkan_gijiroku_2022_2.pdf)

第三者による学校評価(任意記載事項)

ホームページオフィシャルサイト内の情報公開のページで公表

トップページの左端に情報公開のバナーがある。それをクリックしたページの URL

<https://tokyo.ymca.ac.jp/ifs/about/disclosure.html>

このページのやや上段に「第三者評価に関わる情報公開」のタイトルがありそこに前段で記載した「自己点検評価報告書」に続けて、第三者評価を受審した結果を2回分公開している。なお、私立専門学校等第三者評価で平成18年度に受診した結果についてはその後の平成24年度に受診した分の方（現在公開中）が最新であるため古い結果は公開していない。

<ご参考>

公開ファイル URL

<https://tokyo.ymca.ac.jp/ifs/pdf/report1-tokyo-ymca-iryofukushi.pdf>

[https://tokyo.ymca.ac.jp/ifs/pdf/daisanshahyouka\\_kaigo\\_2018.pdf](https://tokyo.ymca.ac.jp/ifs/pdf/daisanshahyouka_kaigo_2018.pdf)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://tokyo.ymca.ac.jp/ifs/index.html>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H113321500011
学校名	東京YMCA医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 東京YMCA学院

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		13人	13人	13人
内 訳	第Ⅰ区分	11人	11人	
	第Ⅱ区分	-	-	
	第Ⅲ区分	-	-	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				13人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)、及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学(期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。)の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計			
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。